

第61号

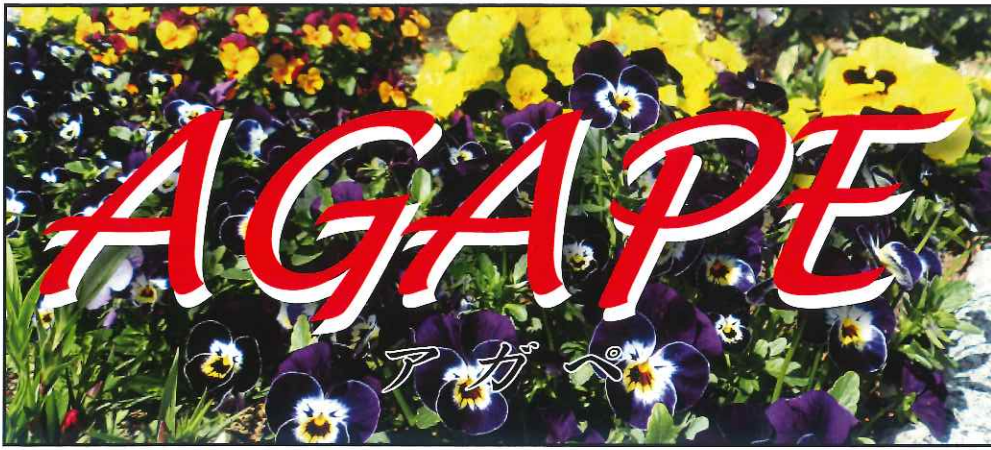
2018年5月15日発行

発行所

社会福祉法人日本キリスト教奉仕団
障がい者総合福祉施設アガベセンター
〒252-0002 座間市小松原 2-10-14
TEL 046-254-7111 FAX 046-255-2915

ホームページアドレス

<http://www.agape-jcws.com/>



ごあいさつ

理事長 渡辺 教



社会福祉法人日本キリスト教奉仕団の理事長渡辺教でございます。十年ほど前から当法人の監事をいたしておりましたが、昨年九月三十日の理事会で理事長に就任いたしました。

これからの世界は第四次産業革命の時代と言われております。ロボット技術の進歩に加えてAI（人工知能）の進化によりさまざまな人間の仕事がAIに替わられる日が来そうです。自動車の自動運転化などは、そう遠くない日に名前のとおり自から動く車となっていくそうです。AIロボットはどんどん進化し人間のことを全て行ってくれる、良いアイデアまで考えてくれるのでは、とまで期待してしまいます。

平昌の冬季オリンピックやパラリン

ピックで、選手たちの人間の身体能力のすばらしさに目を見はりましたが、そこには用具や器具、機械等道具を使用することにより、人間の本来の持っている能力を大きくサポートするものがありました。

この流れは福祉、介護の世界でも同様、さまざまな便利なサポート用具や器具、機械が作られており、これからは便利なものが研究開発されるでしょう。また、日本では若年層の減少から人手不足の問題が起きており、これらの新しい物づくりやIT、AIが代替し重要な役割を果たしていくことは間違いないと思います。この流れは、障がいのある人にとっては自分で出来ることが増え便利になります。また施設職員も人手不足のなかで肉体的に仕事を楽しむなど、大変大きなメリットがあります。反面使い方によっては、利用者にとってはコミュニケーション機会の減少による疎外感の発生、職員は利用者の性格が掴めない、少人数での勤務による精神的な過重労働、職員同士のコミュニケーション不足等から生まれる疎外感、管理者のチェックが甘くなる可能性などのデメリットから、逆に様々な人間関係等の問題が発生してくる可能性も危惧されます。コミュニケーション不足による孤立、孤独は、

人間にとってはストレスが溜りトラブルの原因となります。第四次産業革命が進めば人間関係は重要なポイントとなり、隣人とのコミュニケーションは益々重要性を増すものと思います。

今年、日本キリスト教奉仕団は法人の設立から六十周年を迎えましたが、私たちの施設の名にも冠されているアガベ（見返りを求めないキリストの無条件の愛）を持って、「共に生き、共に歩み支え合って未来を創造する」というミッション（使命）を持って、人種、国籍宗教等を問わず、また障がいのある人たちが障がいの無い人たちと同じ生活条件を作り出すことによって「安心する」場を提供し、第四次産業革命によって便利になる部分の恩恵を取り入れながら、奉仕団としての特性を發揮して利用者の方の能力を十分引き出すことの出来るサポート、ケアを行い、生活の場、働く場として、利用しやすい施設、システム、満足のいくサービス、安心して利用できる施設にしていきたいと考えております。利用者、保護者、職員そして地域の方にとって、ふれあいと支え合いによって幸せが感じられる場所として、皆さんがアガベで良かったと思えるよう、またあたり前の暮らしができる社会が、地域の方々と共にできればと願っております。

座間市立もくせい園

指定管理十年を振り返って

サポートセンターII

施設長 元田 勲

二〇〇八年より指定管理を受け、十年が経ちました。受託時には市職員の方から引継ぎを通して、市直営で大切にしてきたものを受け継がせていただき、アガペセンター基本理念である「共に生き、共に歩む」を

根源として、時代の流れ、変化に合わせてサービス提供を行ってまいりました。二〇〇八年は自立支援法が

試行されて二年が経過する時で、もくせい園は更生施設から生活介護事業への転換期でした。特に送迎サービス費に関わる動向が事業所にとっては不安な時期でしたが、原則、自力通所となっていた内容を、ニーズ

に応えるべく送迎サービスの導入を行いました。また、集団から個別支援の提供に向けた、グループの細分化や、一日に複数のプログラム活動を用意し、利用者さんに選択・決定していただく取り組みを行いました。これは、市直営時から行ってきた、昼食二種類から選択・決定する仕組みの発展系とも言えるかもしれません。

現在は昼食の食事提供のあり方について、検討を行っています。



また、指定管理受託事業所の使命として、二〇一五年度より生活介護ネットワークの構築に向けて市内事業所の皆様にお声掛けをさせていただき、月に二回の会議開催、年に一回の研修会を行っています。目的は、事業所は違っても顔が見える繋がりや連携によって、利用者さんへのサービス提供を向上させることです。

これからの十年も、障がいの有無に関わらず、「当たり前前の生活」を心掛けながら、指定管理受託事業所としての使命を果たしていければと思います。

最後になりましたが、十周年を迎えるにあたり、地域の方をはじめ、多くの皆様方のご支援、ご協力にお礼と感謝を申し上げます。そして、これからも、よろしくお願いいたします。

もくせい園は今、

ソワソワしています

もくせい園 生活支援員

主任 郡山 伸幸

「もくせい園まつりはいつも暑い！」と、座間市長が言われるほど毎年晴天に恵まれるもくせい園まつり。

もくせい園まつりは、座間市のゆるキャラざまりんの登場、お囃子や和太鼓演奏、ビンゴゲーム、地域と密着した模擬店販売などを通して、開催目的である「施設開放と地域交流」を果たしています。

もくせい園では、四月からポスター制作が始まり、今は利用者さんも職員もお祭りの準備で慌ただしくしていま



写真は昨年のもくせい園まつりです。



写真は昨年のもくせい園まつりです。

す。前日に模擬店のテントが園庭に搬入されると、利用者さんはソワソワします。当日は、焼き鳥や焼きそばの模擬店など好きな食べ物もあって、利用者さんはワクワク、ドキドキ、楽しみのあまり緊張感も感じられるほどです。今年も第二十七回もくせい園まつりを開催します。皆さま、ぜひいらしてください。



もくせい園まつり

日 時 5月19日(土曜日)

開催時間 10時30分から14時まで

アクセス 小田急小田原線 相武台前駅下車

神奈川中央交通バス

さがみ野駅北口行き

栗原小学校前下車

お車で来場の場合は栗原小学校校庭に駐車できます。

就任挨拶

診療所長 小島 邦彦



四月一日付で診療所長、産業医に就任させていただきました小島邦彦です。

二〇一七年八月までは入谷で小島小児科をやってきました。小島小児科の頃は、アガベが担当するまではサニーキッズ、もくせい園の嘱託医を兼務し年二回の健診をしていました。

このたびアガベでの診療に関わらせていただくことに不思議な縁を感じております。年も重ねておりますのでどこまでお役に立てるのかの不安もありますが、皆さまのお力添えを得て頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

新人紹介

二〇一八年度の新人職員に、①趣味②大事にしている言葉③抱負について聞きました。



診療所
看護師
伊澤 佳代

①家庭菜園。スマホ留学で英会話の勉強中。

②「今を大切にする」

③入居者の方々の生活が充実するよう支援していきたいと思っています。よろしく願います。



本館生活支援課
生活支援員
木村 真人

①映画鑑賞、カラオケ

②「信頼」

③三年間、非常勤として働いてきましたが、これからは常勤職員として頑張りたいと思います。これからも利用者さんの一人一人が、明るく生活できるように支えていきたいと思えます。よろしく願います。



本館生活支援課
生活支援員
丸田 玲加

①スポーツしたり、体を動かすこと。

②「ありがとう」

③辛いとき、嫌なとき、すぐに顔に出してしまうので、いつでも笑顔忘れずに頑張ります。



もくせい園
生活支援員
佐藤 千尋

①バスケットボール

②「ありがとう」

③新境地で、新たな気持ちでスタートしたいと思っています。持前の元気で頑張りたいと思いますので、よろしく願います。



もくせい園
生活支援員
高尾 ゆかり

①旅行

②「ありがとう」「ごめんなさい」

③利用者の皆さんと毎日楽しく過ごしたいと思えます。

共に生きる

高座教会 小寺 基

「あなたの祭壇に、鳥は住みかを作り、つばめは巣を置いています(中略)わたしの神よ。いかに幸いなことでしょう。あなたの家に住むことができるなら(中略)あなたを賛美することができるようなら。」(旧約聖書詩編八十四章四、五節)

「アガベ聖書の会」は賛美ではじまり、喜びの歌であふれる集いです。神さまが私たち人間に「賛美」というプレゼントをくださいました。小鳥のさえずりに合わせてわたしの心は歌います。つばめが巣を作りひなを育てる「アガベセンター」は、いのちの賛美で満ちるところ！心合せて歌う時、今を、共に生きる喜びにあふれます。

アガベ聖書の会では、
毎月第二、第四木曜日
午後四時半から五時半
まで、吉番館四階地域
交流スペースで、聖書
から生きる喜びや思い
やることなど皆で楽し
く学んでいます。



スマイル散歩

ケアホームスマイル・スマイルⅡ
生活支援員 主任 高田 孝行

皆さんの住まいの近くには、どのような散歩道がありますか。昨今、スマートフォンを手にしている

と、季節の移り変わりに気づきにくいことはありませんか。今回は私も、スマートフォンをカメラに持ち替え、スマイル近くの全長約一・六キロの遊歩道を散歩してみました。



伐採され、二〇一五年に現在の「相模が丘伸よし小道」に生まれ変わりました。

個人的には、時代を歩んだ大きな満開の桜をじっくり鑑賞したいと思っています

いますが、春には、河津桜、ソメイヨシノ、しだれ桜、秋には十月桜など、次々と咲く桜を楽しむことが出来るこの遊歩道は、地元の憩いの場となっています。

普段気に留めず通り過ぎていた道に、意外な発見があるかもしれません。皆さんも、お住まいや職場近くの道をゆっくり歩いてみてはいかがでしょうか。

同窓生は今



高井 渚さん

現在のお仕事について教えてください。

私は、茅ヶ崎市にありますが東邦チタニウム株式会社で働いています。パソコンやスキャナーを使って、書類を電子化するという仕事をしています。

働いて嬉しかったことはなんですか？

少しずつ自分なりに考えて、仕事が出来たようになったことです。また、初めてのお給料で、家族とお寿司屋さんに行き、ごちそう出来たことが嬉しかったです。

休日はどうのように過ごしていますか？

映画を観たり、近所でランチや買い物などをしてしています。

アガペの利用者さんに一言お願いします。

最初は慣れない仕事で大変かもしれませんが、諦めないでコツコツ積み重ねれば、就職に結びつくと思うので、頑張ってください。

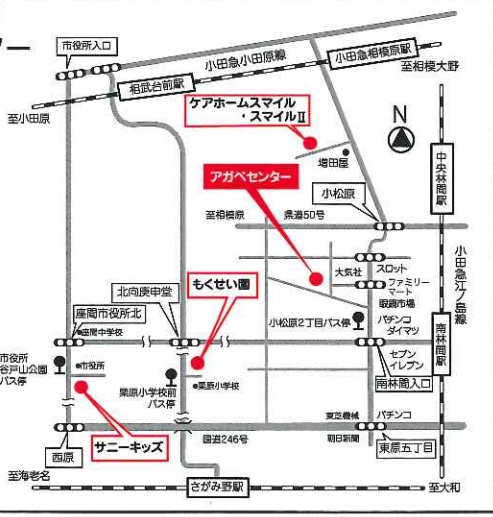
車いす寄贈のお礼
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社特例子会社「株式会社ひなり」様より、車いす一台を寄贈いただき、三月八日に贈呈式がおこなわれました。ご利用者様のために大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



〈退任のお知らせ〉
二〇〇七年四月よりアガペ利用者さんの診療、健康管理に携わってこられました、アガペ診療所の村山鐵郎先生が三月に退任されました。

社会福祉法人 日本キリスト教奉仕団
障がい者総合福祉施設 アガペセンター

- 障がい福祉サービス事業所
アガペ第1作業所・第2作業所
- 障がい者支援施設
アガペ寄附館
- 障がい福祉サービス事業所
生活介護事業
相談支援事業（総合相談室）
アガペサポートセンター
- 障がい福祉サービス事業所
座間市立もくせい園
(〒252-0014 座間市栗原中央 6-7-27)
- 児童発達支援事業
座間市サニーキッズ
(〒252-0021 座間市緑ヶ丘 1-2-1
総合福祉センター(サニープレイス)内)
- 障がい者グループホーム
ケアホームスマイル
(〒252-0001 座間市相模が丘 2-32-24)
スマイルⅡ
(〒252-0001 座間市相模が丘 2-32-2)



※写真は関係者承諾の上、使用しています。